

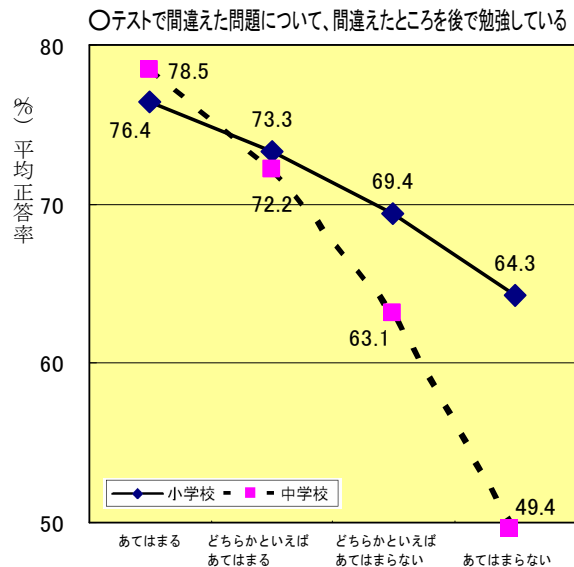
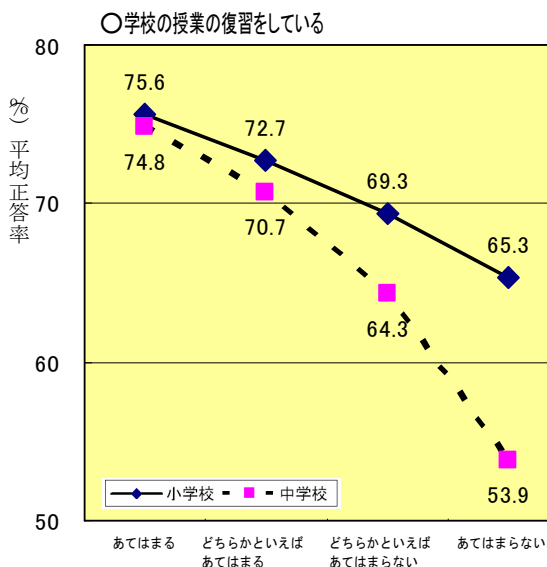
平成 22 年度 県学習状況調査結果の概要

○ 調査結果

【出題内容全般に関して】

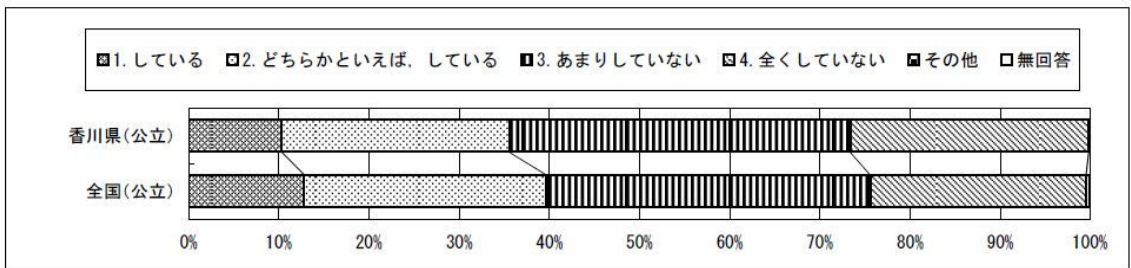
- 小学校では、基礎的・基本的な内容はおおむね定着しており、国語では過去に比べて改善も見られるが、理科や一部の学年（6年）において課題が覗える。
- 中学校では、基礎的・基本的な内容の定着について、全般的に課題が覗える。
- 小学校、中学校とも「活用」に関する問題に課題がある。

質問項目「学校の授業を復習している」「テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強している」においては、他の項目に比べて、「あてはまる」と回答した児童生徒の平均正答率が高く、「あてはまらない」と回答した児童生徒との差が大きい。この傾向は、特に中学校で顕著に表れている。



〔参考資料〕平成 22 年度 全国学力・学習状況調査（中学校）生徒質問紙調査結果

質問番号	質問事項										
(30)	家でテストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答	
香川県（公立）	10.3	25.3	37.8	26.4					0.0	0.2	
全国（公立）	12.8	26.9	35.9	23.9					0.0	0.5	



グラフから、学校の授業の復習をしたり、テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強したりしている児童生徒ほど平均正答率が高くなるのが分かるが、この項目は全国との比較において、本県の児童生徒の課題となっている。

そこで、家庭では毎日きちんと勉強する時間をもつこと、授業の復習をはじめ、テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強することなど、分かるまで繰り返し学習することが重要であり、このことを小学校段階から継続的に指導する必要がある。

○ 各教科の課題及び今後の改善の方向

小学校

	国語	算数	理科
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な種類のテキストから、目的や意図に応じて必要な情報を的確に読み取る力 ・ 目的に応じて必要な情報を効果的に構成して書く力 ・ 漢字の使用、主語と述語の関係、漢字字典の利用等について正確に理解する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 根拠を明らかにし筋道を立てて体系的に考える力 ・ 言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を理解し、それらを適切に用いて問題を解決したり、自分の考えを分かりやすく説明したりする力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に新内容における基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着 ・ 科学的な言葉や概念を用いて論理的に記述する力 ・ 身近な自然や生活とのかかわりの中で学んだことを見直す力
今後の改善の方向	<ul style="list-style-type: none"> ○ 効果的な質問方法について、目的に応じて検討したり改善したりする言語活動の充実 ○ 漢字等を取り出して意図的に指導する学習の充実 ○ 主語と述語の関係など、文及び文章の構成に関する指導の充実 ○ 文章や絵や図表から必要な情報を取り出し、目的に応じて再構成する言語活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動や体験活動などを重視した算数的活動を生かした指導を充実 ○ 数量や図形について実感的に理解し豊かな感覚を育てながら、基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させるとともに、数学的な思考力・表現力を高めることや学んで身に付けた算数を生活や学習に活用することを重視した指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新内容を中心に指導方法や指導内容の工夫改善 ○ 科学的な言葉や概念を使用して考えたり論理的に説明したりする学習活動の充実 ○ 実社会・実生活との関連を重視し、科学的な知識や概念の定着や科学的な見方や考え方の育成

中学校

	数学	理科	英語
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な事象や表やグラフなどの数学的な表現から、目的にあった情報を的確に読み取り数学的に解釈する力 ・ 数学的な表現を用いて根拠を明らかにし筋道立てて説明する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラフのかき方をはじめ基礎的・基本的な知識や技能の定着 ・ 既存の知識と観察・実験の結果などの情報を活用して考察する力 ・ 理科における学習事項と日常生活や社会と関連付けて考察する経験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文構造や語法を理解したうえで、正しい文を書くことや自分の考えや気持ちを書く力 ・ まとまりのある文章を読み、大切な部分などを正確に読み取る力
今後の改善の方向	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常生活や社会のできごとを数学と結び付けて考察したり処理したりする活動の充実 ○ 言葉や数、式、図、表、グラフなどを適切に用いて、数量や図形に関して見いだしたことや思考の過程や判断の根拠などを数学的に説明する活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着のための補足的、個別的な指導の充実 ○ 観察・実験の計画を立てたり、観察・実験の結果を分析して解釈し表現する機会の充実 ○ 学習で獲得したことと、日常生活や社会との関連を重視した指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 語の配列や修飾関係などの特徴を日本語との対比でとらえて指導したり、語、連語及び慣用表現を活用させたりすることを通じた定着 ○ 手がかりとなる語句や表現をヒントとして与えたり、事前に内容を尋ねる質問をしたりするなど正確な読み取りのための配慮